

「介護の魅力発信－中学生に届け 介護の素晴らしさ」

介護現場革新会議 パイロット事業の取り組み

阿蘇地域の中学3年生を対象に、社会福祉科の生徒達が講師役となって、福祉・介護の素晴らしさを伝える体験学習を実施しました。実施するにあたり、阿蘇地域の高齢者施設の職員の方々と協力し、中学生がいかに関心を持ってもらえるか話し合いを重ねた上で臨みました。たくさんの体験ブースを設け、中学生に楽しんでもらえる工夫をしました。体験学習は大成功！！また高齢者施設にも一緒に介護体験にも行きました。多くの中学生に福祉・介護の素晴らしさを実感してもらえるとともに、高校生にとっても成長できる機会となりました。

【中学生の感想】

- 体験してみて細かいところまでたくさんの気遣いがあることを知って、感動した。
- 介護体験では、高校生や入居者の方が楽しそうにされていて私も楽しかった。

【高校生の感想】

- 身に付けた知識や技術を、中学生にアドバイスができ、自分自身の成長を感じた。
- 伝える難しさを実感した。私自身の課題が見つかり、充実した時間になった。



－障がい者スポーツを知ろう－ 専門高校プロジェクト学習支援事業

障がい者の方々の力や個性を身近に感じ理解することを目的に、熊本県パラスポーツ強化指定選手の乗松聖矢氏(ウェルチェアラグビー)、平井美喜氏(車いすバスケットボール)を招き、障がい者スポーツ体験を行いました。乗松選手からは、ご自身の障がいの話やスポーツを通して得たことを伺い、リオパラリンピックの銅メダルにも触れることができました。また平井選手からは実際に競技用の車いすを使用しての、車いすバスケットボールを習い、障がい者スポーツの魅力を実感することができました。さらにボッチャも経験し、障がい者スポーツを身近に感じる機会となりました。文化祭では障がい者スポーツ体験ブースを設け、地域の方々にも経験して頂きました。

